

---

**平成24年3月期 決算補足説明資料**

---

**国際石油開発帝石株式会社**

**2012年(平成24年)5月10日**

当プレゼンテーションは、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

当プレゼンテーションに掲載される情報(将来予想に関する情報を含む)を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

# 2012年3月期 決算ハイライト



	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	9,430	11,867	2,436	25.8%
原油売上高	5,579	7,262	1,683	30.2%
天然ガス売上高(LPG含む)	3,562	4,290	728	20.4%
その他	289	314	25	8.7%
営業利益 (億円)	5,297	7,093	1,796	33.9%
経常利益 (億円)	5,085	7,670	2,584	50.8%
純利益 (億円)	1,286	1,940	653	50.7%
1株当たり純利益 (円)	40,832.40	53,137.93	12,305.53	30.1%

期中平均株式数(連結)2012年3月期 3,650,894株

期中平均油価(Brent) (\$/bbl)	87.24	114.18	26.94	30.9%
期中平均為替 (¥/\$)	85.72	79.07	6円65銭円高	7.8%円高

# 原油売上高

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	5,579	7,262	1,683	30.2%

販売量 (千bbl)	76,651	80,738	4,086	5.3%
海外平均単価 (\$/bbl)	84.34	112.97	28.63	33.9%
国内平均単価 (¥/kl)	49,957	60,263	10,305	20.6%
平均為替 (¥/\$)	85.56	79.09	6.47円円高	7.6%円高

地域別販売量 (千bbl)	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
日本	156 (25千kl)	138 (22千kl)	△18 (△3千kl)	△11.2%
アジア・オセアニア	18,004	15,355	△2,649	△14.7%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	9,056	9,107	51	0.6%
中東・アフリカ	48,396	56,084	7,689	15.9%
米州	1,040	53	△986	△94.9%
合計	76,651	80,738	4,086	5.3%

# 天然ガス売上高(LPG除く)

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	3,346	4,047	700	20.9%
販売量 (百万cf)	401,228	357,601	△43,627	△10.9%
海外生産分平均単価 (\$/千cf)	9.10	14.12	5.02	55.2%
国内分平均単価 (¥/m <sup>3</sup> )	41.73	44.56	2.83	6.8%
平均為替 (¥/\$)	85.68	79.15	6.53円円高	7.6%円高

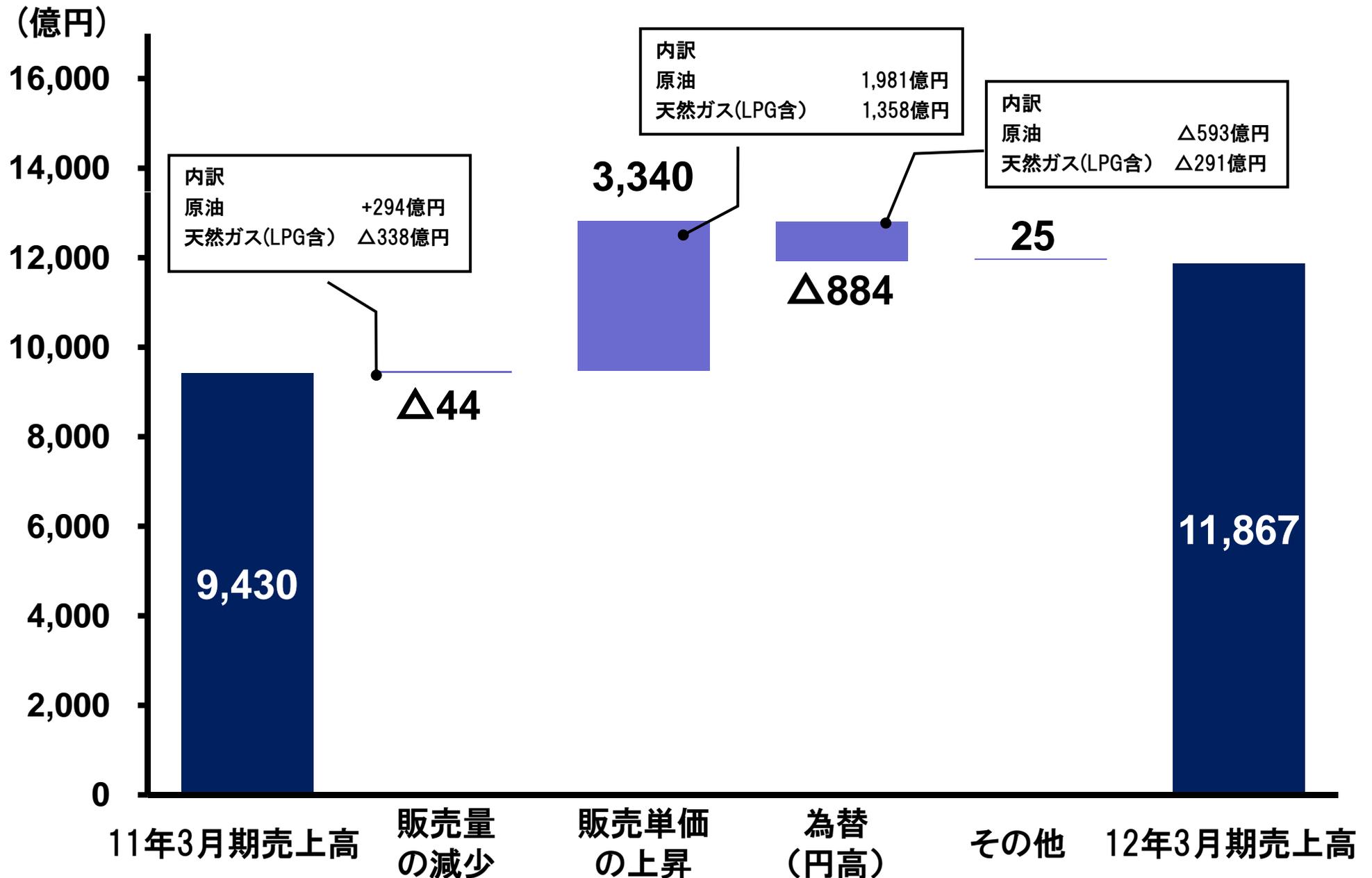
地域別販売量 (百万cf)	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
日本	64,253 (1,722百万m <sup>3</sup> *)	65,602 (1,758百万m <sup>3</sup> *)	1,349 (36百万m <sup>3</sup> *)	2.1%
	買入量:492百万m <sup>3</sup> *	買入量:532百万m <sup>3</sup> *	39百万m <sup>3</sup> *	8.0%
アジア・オセアニア	306,641	264,617	△42,024	△13.7%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	30,334	27,382	△2,952	△9.7%
合計	401,228	357,601	△43,627	△10.9%

※ LPGの売上高は以下の通り。

	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
売上高 (億円)	215	243	27	12.7%

\*1m<sup>3</sup>当たり41.8605MJ

# 2012年3月期 売上高 増減要因分析



# 損益計算書

**INPEX**

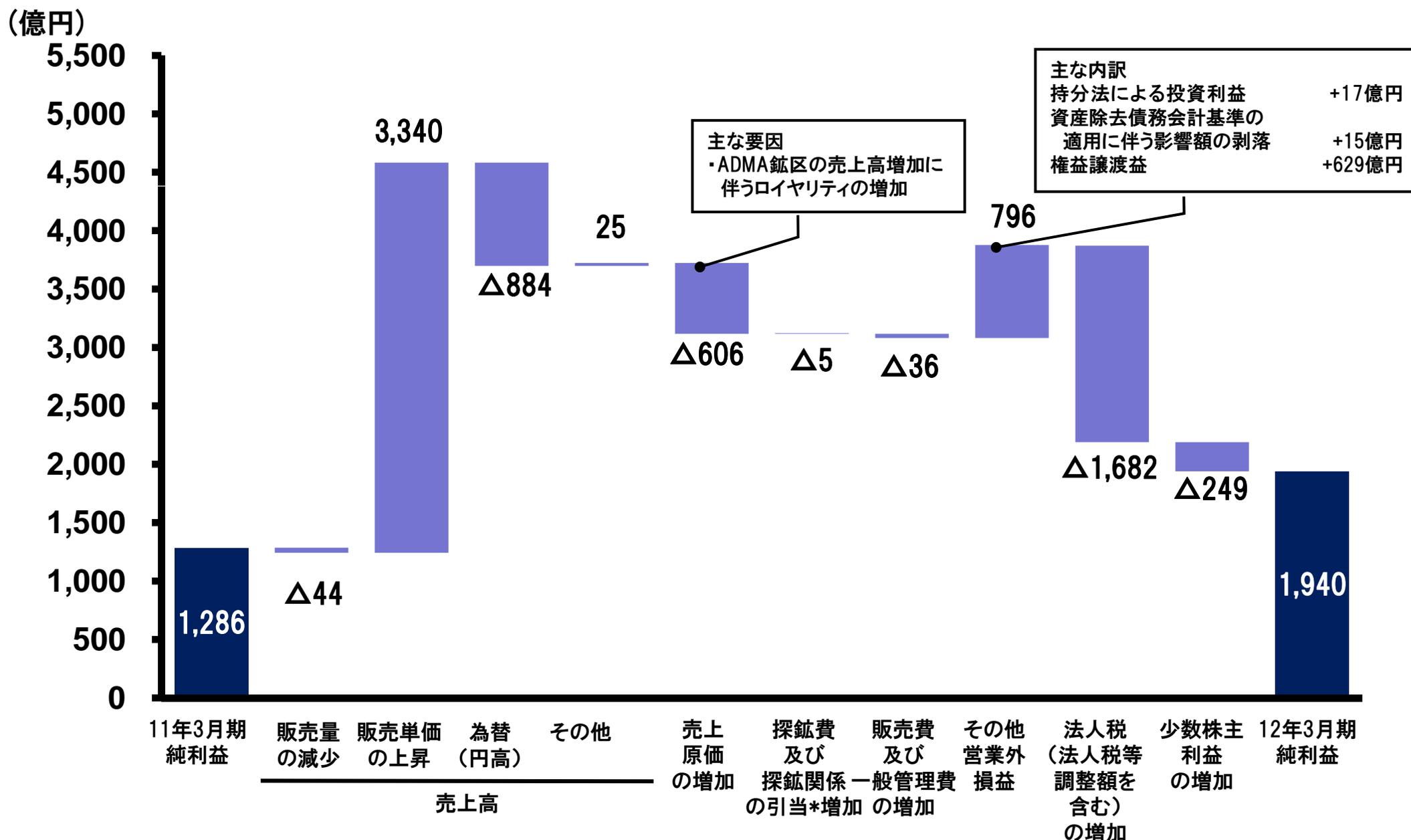
(億円)	11年3月期	12年3月期	増減	増減率	
売上高	9,430	11,867	2,436	25.8%	販売量の減少 $\Delta 44$ 販売単価の上昇 $+3,340$ 為替(円高) $\Delta 884$ その他 $25$
売上原価	3,348	3,954	606	18.1%	
探鉱費	120	117	$\Delta 2$	$\Delta 2.1\%$	
販売費及び一般管理費	665	701	36	5.5%	
営業利益	5,297	7,093	1,796	33.9%	原油売上原価： $2,240$ (増減) $+287$ 天然ガス売上原価(注)： $1,495$ (増減) $+311$
営業外収益	311	1,020	709	227.4%	
営業外費用	523	444	$\Delta 79$	$\Delta 15.2\%$	主な要因 権益譲渡益(増減 $+629$ )
経常利益	5,085	7,670	2,584	50.8%	
法人税等	3,670	5,431	1,760	48.0%	
法人税等調整額	16	$\Delta 62$	$\Delta 78$	$\Delta 485.4\%$	
少数株主利益	111	361	249	222.6%	
純利益	1,286	1,940	653	50.7%	

注) LPGを含む。

# 営業外収益・費用

(億円)	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
<b>営業外収益</b>	311	1,020	709	227.4%
受取利息	41	43	2	7.0%
受取配当金	57	69	12	22.2%
持分法による投資利益	49	66	17	34.5%
権益譲渡益	73	702	629	858.0%
その他	90	137	47	51.9%
<b>営業外費用</b>	523	444	△79	△15.2%
支払利息	10	12	1	14.4%
生産物回収勘定引当金繰入額	114	148	33	29.0%
探鉱事業引当金繰入額	30	5	△25	△83.2%
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	-	△15	△100.0%
為替差損	115	146	31	26.9%
事業撤退損	-	53	53	-%
その他	235	78	△157	△66.8%

# 2012年3月期 純利益 増減要因分析



\*生産物回収勘定引当金繰入額及び探鉱事業引当金繰入額

# 貸借対照表

(億円)	11年3月期末	12年3月期末	増減	増減率
流動資産	4,929	9,087	4,157	84.3%
有形固定資産	3,798	3,836	38	1.0%
無形固定資産	2,491	2,333	△157	△6.3%
生産物回収勘定	5,343	5,683	339	6.4%
その他	11,210	10,730	△479	△4.3%
生産物回収勘定引当金	△968	△1,006	△37	3.9%
<b>資産合計</b>	<b>26,803</b>	<b>30,663</b>	<b>3,860</b>	<b>14.4%</b>
流動負債	2,547	3,678	1,131	44.4%
固定負債	3,282	3,843	560	17.1%
純資産	20,973	23,141	2,168	10.3%
(うち少数株主持分)	1,004	1,349	344	34.3%
<b>負債・純資産合計</b>	<b>26,803</b>	<b>30,663</b>	<b>3,860</b>	<b>14.4%</b>
1株当たり純資産 (円)	546,959	596,909	49,950	9.1%

# キャッシュフロー

(億円)	11年3月期	12年3月期	増減	増減率
税金等調整前当期純利益	5,085	7,670	2,584	50.8%
減価償却費	542	480	△62	△11.5%
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	508	535	27	5.4%
生産物回収勘定(非資本支出)の増加額	△173	△210	△36	21.1%
法人税等の支払額	△3,495	△5,107	△1,612	46.1%
その他	273	△161	△434	△159.0%
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>2,740</b>	<b>3,206</b>	<b>465</b>	<b>17.0%</b>
有形固定資産の取得による支出	△842	△683	159	△18.9%
有価証券・投資有価証券の取得による支出・売却による収入(ネット)	△6,104	△853	5,250	△86.0%
生産物回収勘定(資本支出)の支出	△778	△829	△50	6.5%
その他	△720	△442	277	△38.5%
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△8,445</b>	<b>△2,808</b>	<b>5,636</b>	<b>△66.7%</b>
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>5,480</b>	<b>292</b>	<b>△5,187</b>	<b>△94.7%</b>
現金及び現金同等物の期末残高	1,820	2,492	672	36.9%

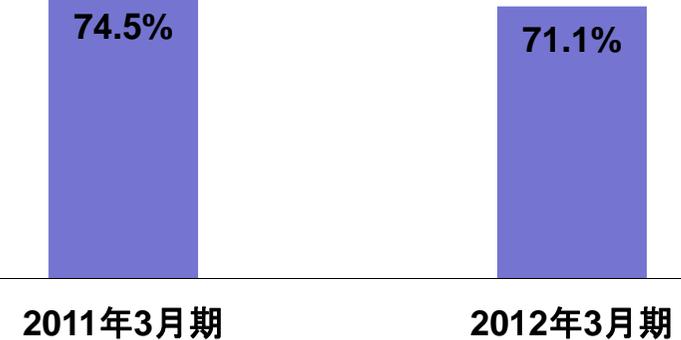
# 財務指標

INPEX

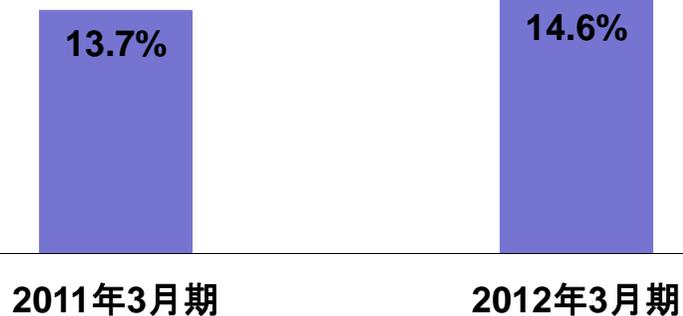
## 純有利子負債／使用総資本(ネット)\*



## 自己資本比率\*\*



## D/Eレシオ\*\*\*



\* 純有利子負債／使用総資本(ネット) = (有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－MMF・譲渡性預金)／(純資産＋有利子負債－現金及び預金－国債・地方債・社債等(時価のあるもの)－MMF・譲渡性預金)

\*\* 自己資本比率 = (純資産－少数株主持分)／総資産

\*\*\* D/Eレシオ = 有利子負債残高／(純資産－少数株主持分)

# 2013年3月期 連結業績予想

前提	上期	下期	通期
Brent 油価(\$/bbl)	100.0	100.0	100.0
為替レート(円/US\$)	80.0	80.0	80.0

通期	2012年3月期(実績)	2013年3月期(予想)	増減	増減率
売上高 (億円)	11,867	10,580	△1,287	△10.8%
営業利益 (億円)	7,093	5,710	△1,383	△19.5%
経常利益 (億円)	7,670	5,930	△1,740	△22.7%
純利益 (億円)	1,940	1,640	△300	△15.5%

## 第2四半期累計

売上高 (億円)	5,731	5,350	△381	△6.7%
営業利益 (億円)	3,280	2,810	△470	△14.3%
経常利益 (億円)	3,324	2,790	△534	△16.1%
純利益 (億円)	743	680	△63	△8.6%

1株当たり配当金 (円)	第2四半期末	3,000	3,500
	期末	4,000	3,500
	年間	7,000	7,000

# 2013年3月期 販売量・投資額(予想)



		2012年3月期(実績)	2013年3月期(予想)	増減	増減率
販売量	原油 (千バレル) <sup>1</sup>	80,738	85,914	5,176	6.4%
	天然ガス (百万cf) <sup>2</sup>	357,601	323,535	△34,066	△9.5%
	うち海外分	291,999	256,571	△35,428	△12.1%
	うち国内分	65,602 (1,758百万m <sup>3</sup> )	66,964 (1,794百万m <sup>3</sup> )	1,362 (36百万m <sup>3</sup> )	2.1%
	LPG (千バレル) <sup>3</sup>	3,436	3,311	△125	△3.6%

		2012年3月期(実績)	2013年3月期(予想)	増減	増減率
開発投資額 <sup>4</sup> (億円)		2,101	6,400	4,299	204.6%
その他設備投資額 (億円)		369	310	△59	△16.0%
探鉱投資額 (億円)		328	630	302	92.1%
探鉱費および 探鉱関連引当額 <sup>5</sup> (億円)	探鉱費 117	270	探鉱費 334	319	118.1%
	探鉱関連引当額 153		探鉱関連引当額 255		
うち少数持分負担額 <sup>6</sup> (億円)		111	281	170	153.2%

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用  
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m<sup>3</sup>=37.32cfを使用  
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用  
 4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む  
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額  
 6 少数株主による増資見合い分等

# 原油価格・為替レートのセンシティブリティ **INPEX**

## ■ 油価・為替変動の2013年3月期当期純利益に与える影響額(試算)

油価1ドル 上昇(下落)した場合	+18億円(△18億円)
為替(円/US\$)1円 円安(円高)になった場合	+22億円(△22億円)

(注) 原油価格(Brent)を1ドル変動させた場合、為替を1円変動させた場合の2013年3月期の当期純利益に対する影響額をそれぞれ試算したものです。

影響額は、生産量、投資額、コスト回収額などの変動により変わる可能性があり、また、油価及び為替の水準により、常に同じ影響額になるとは限らない点にご留意ください。